

福島県原子力防災避難経路阻害要因調査事業について

1 事業概要

○予算額 45,458千円（平成29年度2月補正予算）

○事業内容

原子力災害発生時における住民の円滑な避難に向け、広域避難計画の実効性を高めるため、渋滞発生箇所を特定し、その回避方法等について調査（委託事業）を行うもの。

○経過等

- ・公告：2月23日
- ・企画プロポーザルの実施：3月22日
- ・仕様書の確定、契約：4月上旬予定

2 企画プロポーザルにおける仕様書

業務委託仕様の概要は以下のとおり。（詳細は資料1-1）

- 住民アンケートの実施
- シミュレーションに必要なデータの収集
- シミュレーションの実施
 - ・想定シナリオ（人口、避難指示方向、避難タイミング等により34パターン）
 - ・避難時間推計の実施
- 渋滞発生箇所の特定
- 渋滞発生箇所毎の回避方法の検討
- 成果物（避難時間推計等の報告書・避難ルートマップ）
- ホームページ「原子力災害に備える情報サイト」の改修等

3 契約候補事業者における提案内容の主な特徴

（1）渋滞シミュレーションについて

- 道路情報等については、各種統計データのほか現地調査による動画撮影を実施
 - ⇒既存避難ルートの再点検、詳細データによる精度向上
- 原発作業員等の住民以外の要素については、携帯電話位置情報によるビックデータを活用し、シミュレーションに反映させる。
 - ⇒検討会での課題を解決
- シナリオについては、主要道路の通行止め（道路インパクト）のシナリオも追加
 - ⇒多様な想定でのシミュレーションを実施

(2) ホームページについて

- 全体構成を見直す（複数シート化）とともに、地図、イラストを多く使い分かりやすいページとする。
- 検索性の向上（避難元の選択によりルート提示、ルート上の様々な施設、道路状況、渋滞状況を提供）
- 段階的避難の効果を分かりやすくアニメーション表示

委託契約の仕様書作成にあたり、追加すべき事項があればご提案いただきたい。

4 住民アンケートについて

(1) 企画プロポーザル仕様書

- 抽出調査：いわき市、田村市、南相馬市、川俣町、広野町、檜葉町、川内村
 - 原則全戸調査（帰還世帯のみ）：富岡町、浪江町、葛尾村、飯舘村
- アンケートは内容は10程度の設問を提案し、甲と協議して決定する。

(2) 契約候補事業者の提案内容

- 総サンプル数3,500程度
- シミュレーションに関わる重要パラメータをアンケートにより設定
 - ・避難車両一台当たりの乗車人数
 - ・避難準備時間
 - ・自主避難（影の避難）の割合

(3) 想定質問項目

別紙資料1-2のとおり。

追加すべき事項があればご提案いただきたい。

5 関係機関への協力依頼事項（予定）

依頼内容	想定される協議・協力機関
道路情報の提供	道路管理者
交差点情報の提供（依頼済）	警察本部等
シミュレーションの条件設定に必要な情報（人口、避難指示の範囲など）	市町村等
迂回路の設定に係る協議	道路管理者、市町村等
新たな避難ルート設定に係る協議	道路管理者、市町村等